

問 宗教虐待などへの対応は

答 県と連携して対応していく



那須 英二 議員 日本共産党弥富市議団

問 スクールカウンセラーを全小中学校へ常勤配置するスケジュールは。

答 (市長) 来年度は、中学校には毎日相談できるように配置。小学校にも週1回から2回程度巡回相談できる体制整備。

問 スクールカウンセラーが宗教による悩みや、虐待を発見した場合の対応は。

答 (教育部長) 学校、教育委員会、スクールソーシャルワーカーと連携し問題に対応。

問 スクールカウンセラーと児童相談所との連携は。

答 弥富市要保護児童対策地域協議会で、定期的に児童相談所、警察、市の関係部署に加え、スクールソーシャルワーカー、教育委員会と一緒に協議する。

問 「なんでも相談窓口」の設置場所とスケジュールは。

答 (総務部長) 来年度、十両支所へ職員OBを配置。

問 宗教や虐待による相談の対応は。

答 相談を聞き、担当部署へつないでいく。

問 ※スクールロイヤーの配置は。

答 (市長) 考えていない。

問 市長の考え、被害者たちへのメッセージを。 **答** 差し控える。

問 ※スクールロイヤー

学校で発生する様々な問題について、子どもの利益を念頭に置き、法律の観点から学校に助言する弁護士。



▲被害者救済新法

問 弥富駅自由通路事業の住民投票を

答 実施する考えはない



問 物価高騰などで、工事費への影響は。

答 影響が出る可能性があることは認識している。

問 住民投票を行う考えは。

答 (市長) 考えはない。

問 白紙撤回した場合、JRに2倍の違約金を支払うとしているが、現時点でやめた場合の金額は。

答 (都市整備課長) 白紙撤回する予定がない。

問 「2倍の違約金」という不平等な条件は無効にできないか。

答 一方的に無効には出来ない。双方に適用されるので不平等ではない。

問 JRと近鉄に挟まれた区域を一体のものとして考え、全体的に整備していく計画を立てるべきでは。

答 より現実的な範囲での整備を進め、連鎖的に整備範囲を広げていきたい。

問 市長の考えは。

答 (市長) 弥富駅周辺の一体的なまちづくりにつなげていく。